

「学校現場を支える教育情報化コーディネータの役割とITCe検定の実際」

検定試験問題 2002年度2級2次試験

問題の設定 A小学校は、1学年3クラス程度の中規模の小学校である。2002年からの新しい学習指導要領の実施や、教育の情報化の推進に関する国の計画を参考にし、おそまきながら情報インフラ環境の整備に取り組み始めている。2000年には、学校にコンピュータ教室が整備され、22台のMacintosh (iMac DV+) が導入された。お絵かきソフト、ワープロ、ブラウザなど基本的なツールソフトはそろえてあるが、コンピュータは専用机におかれ、周辺機器はスキャナーとカラープリンタ各1台だけしか整備できなかった。しかし、コンピュータ間のネットワークは、ケーブルで施設されていて、iMac DV+の1台をサーバに充てて、CATV回線を通じてインターネットに常時接続できる環境にある。導入当初は、お絵かきなどを利用した授業やWebページの閲覧などの授業が行われていたが、最近はあまり授業でも使われていないし、使用しないときは部屋に鍵がかけられている状態である。先生方の中では、「パソコンの使い方がわからない」「パソコンを利用した授業に具体的なイメージがわからない」「自分の持っているパソコンとソフトが違う」などの声が聞かれる。このような状況の中、この学校では、来年4月から図書館(図書室)の隣りの普通教室が空くことになったので、ここにコンピュータ(10台程度)を導入し、より多様な目的でコンピュータを利用できる教室を整備することになった。ただし、予算は今年度内の予算であり、総額で300万円(消費税込み315万円)である。ITCEのあなたは、この予算の有効な利用に関する相談を受けた。

1. 今回の要件は以下のとおり。

- 1) 今回はすべて買取であり、予算は消費税を含み315万円。
- 2) 経費には、導入ハードのほか、ソフトウェアや周辺機器を含むこと。
- 3) 積算の根拠は、現在の実勢価格による。
- 4) 工事費やハードの保守費は含まない(別途要求)。
- 5) 本提案の経費(315万円)以外の設備は、今年度は充当されない。
- 6) 教室には、100Base-TXの情報コンセント(2口)が敷設されている。
- 7) 来年度にも、何か運用や普及のための経費が必要なら、今回提案しておかなければ、予算化は検討されない。

注) ここに記述されていない要件(教員の意識や技能、建物や教室の大きさ)については、標準的な中規模の小学校の現状と同程度と考え、資料などを調べて情報を補ない、それをもとに設計し、提案すること。

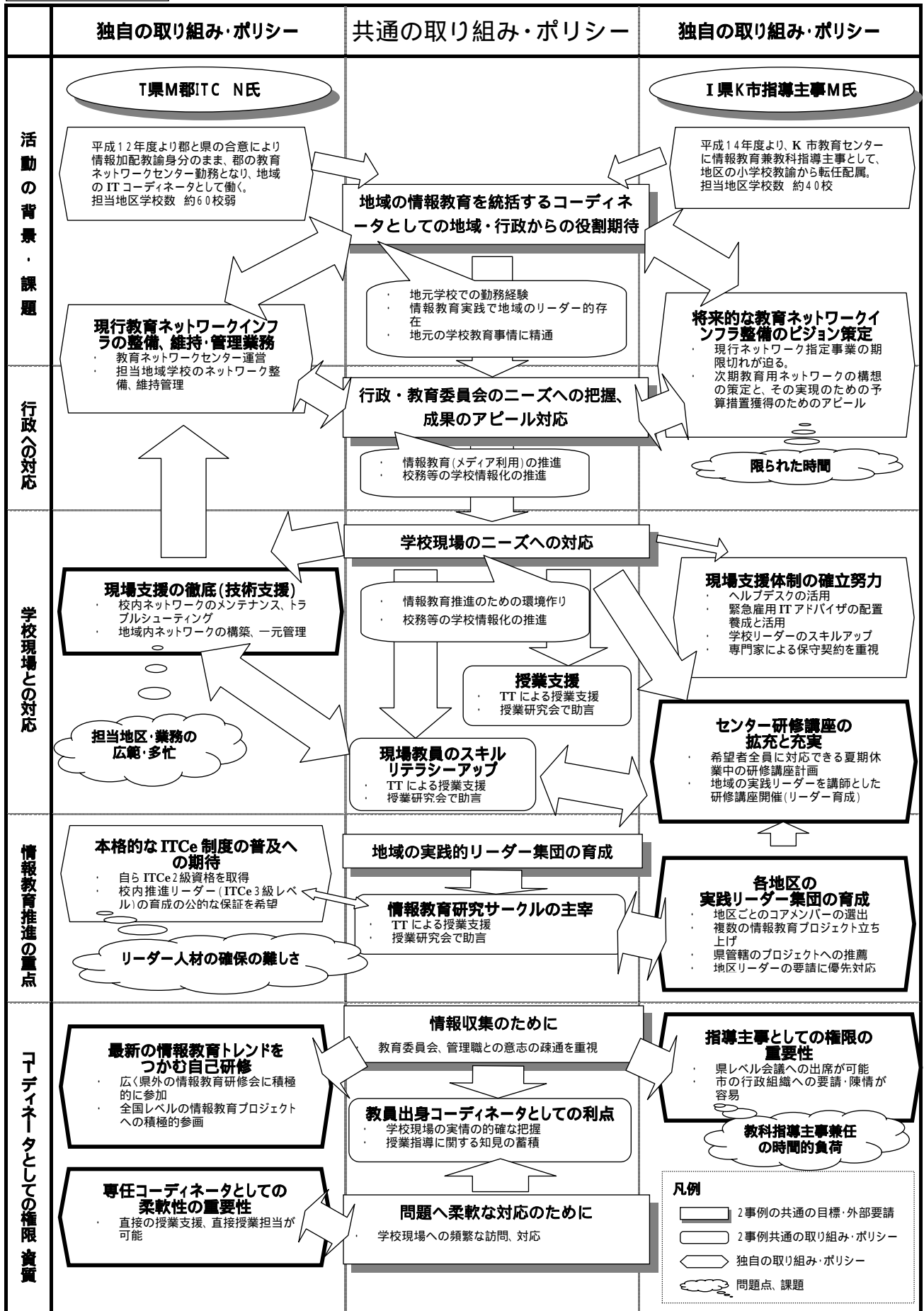
1. 上記の学校に導入すべき、具体的なハード、ソフト、周辺機器を選定し、構成せよ。
2. なぜその機種を選んだのか、どのようにすれば有効に活用できるかについて、次のような観点で提案書を作成せよ。
 - 1) 導入の目的(要求事由)
 - 2) 提案の内容と経費 ・機器構成・機種名、機能 ・経費内訳
 - 3) 活用の方法 ・参考となる事例 ・既存の設備との関連 ・今後の具体的な取り組み方
 - 4) 2003年度(次年度)に必要な予算措置
3. 上記の内容(特に、目的や選定の理由、活用方法)について、約5分で、分かりやすくプレゼンテーションせよ。

表1 問題点の分析と対処法の一覧

2002.11. A小整備プラン
作成者 教育情報化コーディネータ 正来 洋
受理コード: 300-10056W

	Windowsサーバ導入	新PC室のインフラ整備	MSスクールライセンス契約	新PC室のマルチパーパス化	職員研修(教育の情報化)	職員研修(情報教育推進)	既存PC室の利用形態の提案
1「パソコンの使い方がわからない」		ノート10台 当面は職員兼用	ソフトウェア環境と統一によるOJT促進		研修講座(利用教育)		
2「パソコンを利用した授業に具体的なイメージがわからない」				調べ、まとめ、伝える授業形態への対応 交流学習対	プロジェクト利用、外部教材リソース利用	元吉原小、 暁小カリキュラム	
3「自分の持っているパソコンとソフトが違う」	機種の差異を吸収できるサーバOS		ソフト統一によるMAC,WINの相違の吸収				
4 PC室が使われていない、鍵がかかっている利用イメージを!							休み時間の開放 児童PCリテラシーアップのためのドリル的ソフト等導入
5 新PC室マルチな利用イメージ、図書館との連携を考慮		テレビ会議ソフトとハード無線LAN対応		隣室図書館との連携、役割分担(書架、図書分類と移動) 移動機配置による柔軟な		同左	
6 次年度要求		職員用PCの導入 教育の情報化対応	ライセンス継続予算	消耗品費	情報教育アドバイザー獲得 リテラシーアップ講座	ITCeによる継続的な研修開催	

図表1 業務の分析



凡例

- 2事例の共通の目標・外部要請
- 2事例共通の取り組み・ポリシー
- 独自の取り組み・ポリシー
- 問題点、課題